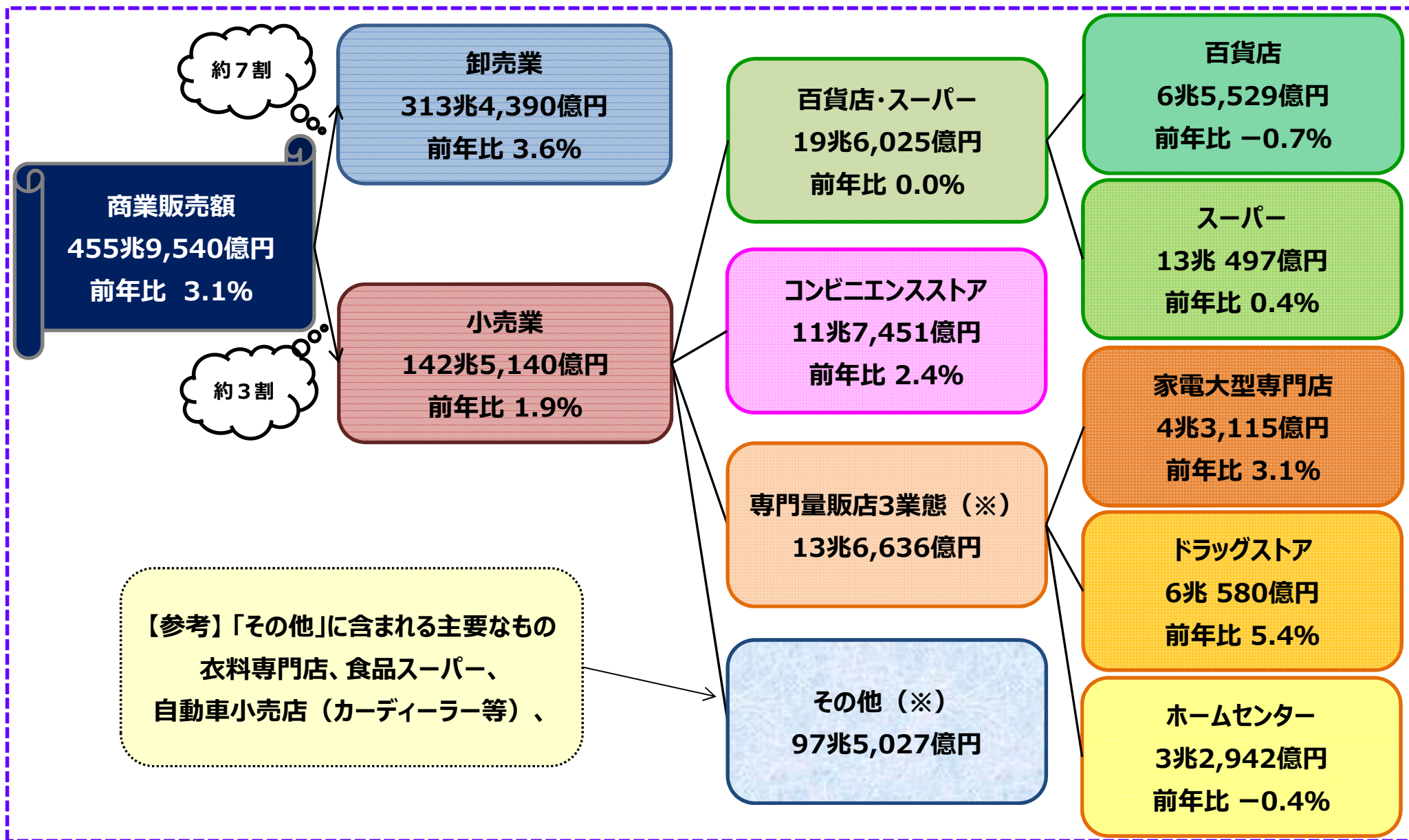
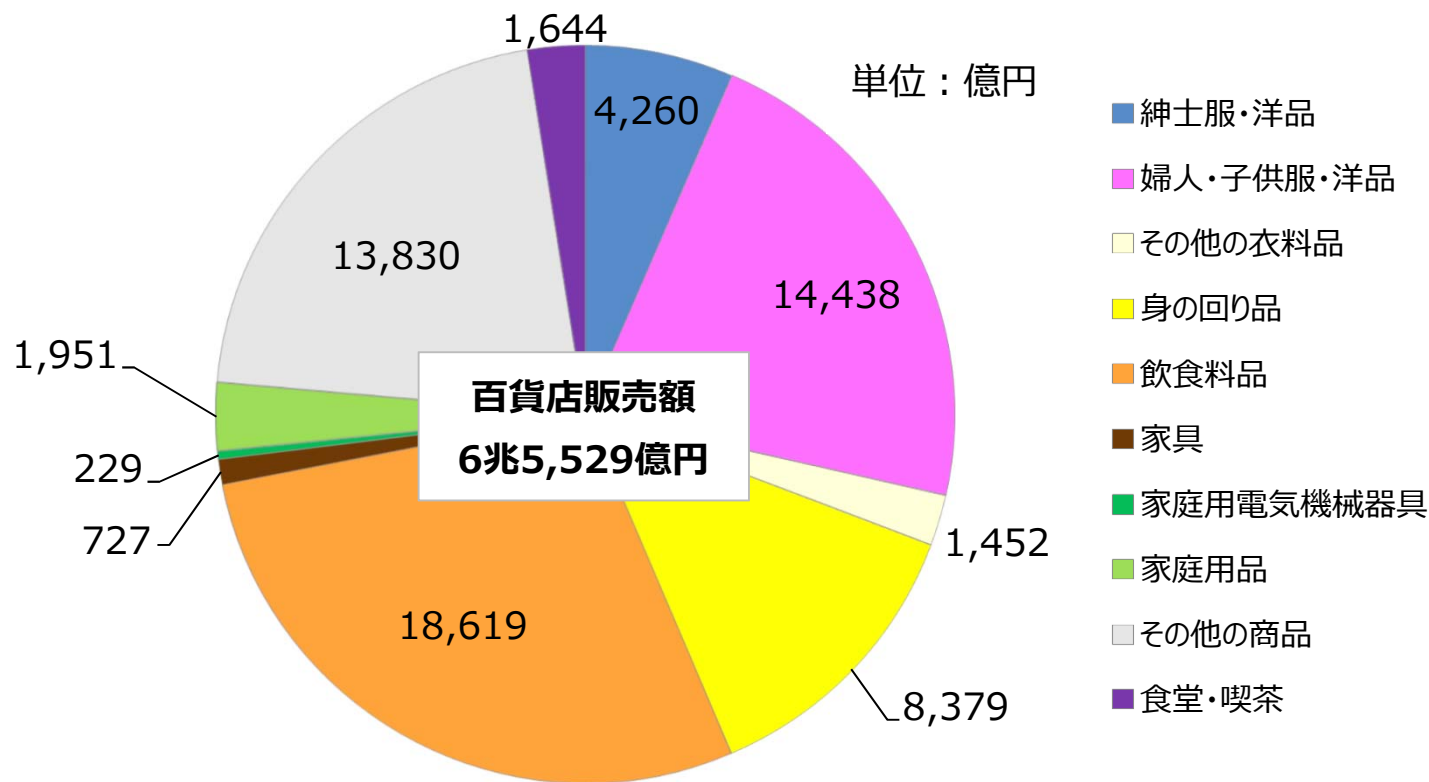


平成29年の商業販売額



(注)「専門量販店3業態」と「その他」の数字は、経済解析室で計算した値。
資料：経済産業省「商業動態統計」から作成。

平成29年 百貨店販売額の商品別内訳



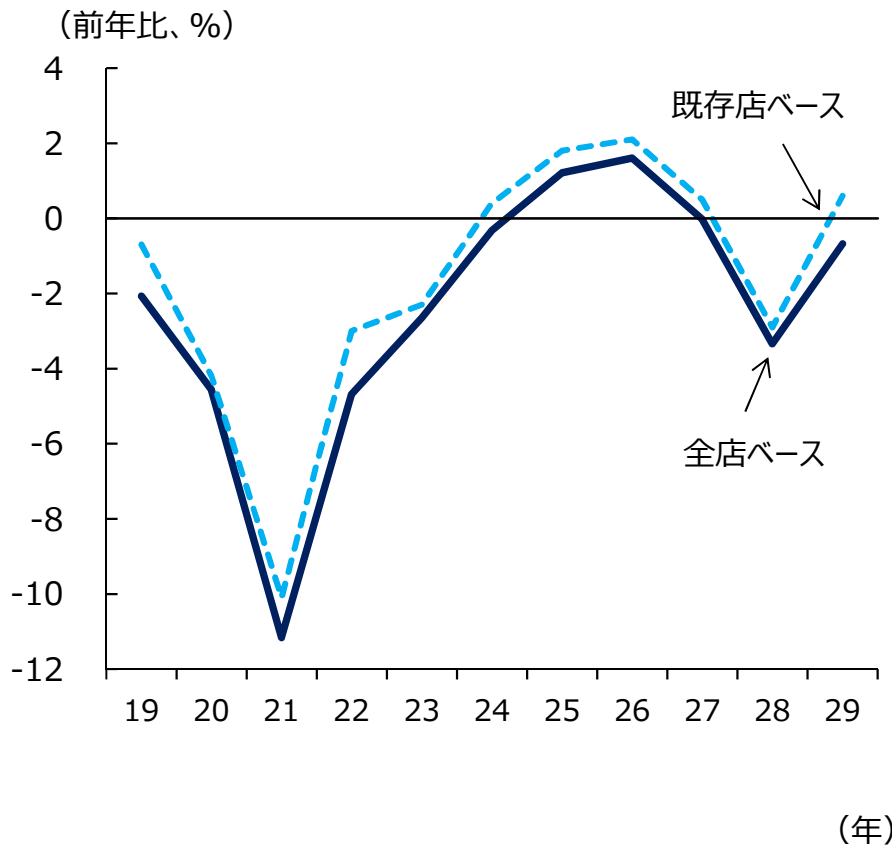
商品名	内容例示
紳士服・洋品	紳士服、下着類、ワイシャツ、ネクタイ、靴下など
婦人・子供服・洋品	婦人服、子供服、下着類、ブラウス、靴下など
その他の衣料品	呉服、反物、寝装具類、和装小物、タオルなど
身の回り品	靴、履物、和・洋傘類、かばん、トランク、ハンドバッグ、裁縫用品、装身具(宝石、貴金属製を除く)など
飲食料品	飲料、和・洋酒、調味料、食肉、鮮魚、乾物、野菜、果実、菓子、パン、乳製品など
家具	和・洋家具、室内調度品、神仏具、じゅうたん、カーテン、ござなど
家庭用電気機械器具	テレビ、ラジオ、ステレオ、DVD、エアコン、電気洗濯機、電気冷蔵庫、照明器具、電気こたつ、電気ストーブ、パソコン、電話機、携帯電話機など
家庭用品	陶磁器、ガラス器、漆器、金物、荒物、ガス器具、石油ストーブ、水道器具、ミシン、編機など
その他の商品	医薬品、化粧品、洗剤、書籍、文房具、事務用品、貴金属、宝石、美術工芸品、時計、眼鏡、カメラ、ビデオテープ、CDソフト、DVDソフト、スポーツ用品、娯楽用品、玩具、電子応用玩具、ゲームソフト、楽器、園芸用品、大工用品、ペット関連商品、たばこ、喫煙具、燃料、自転車、自動車、トイレトーパー、ティッシューパー、紙おむつなど
食堂・喫茶	食堂、喫茶室、すし屋などその場で顧客に飲食させるもの

資料：経済産業省「商業動態統計」から作成。

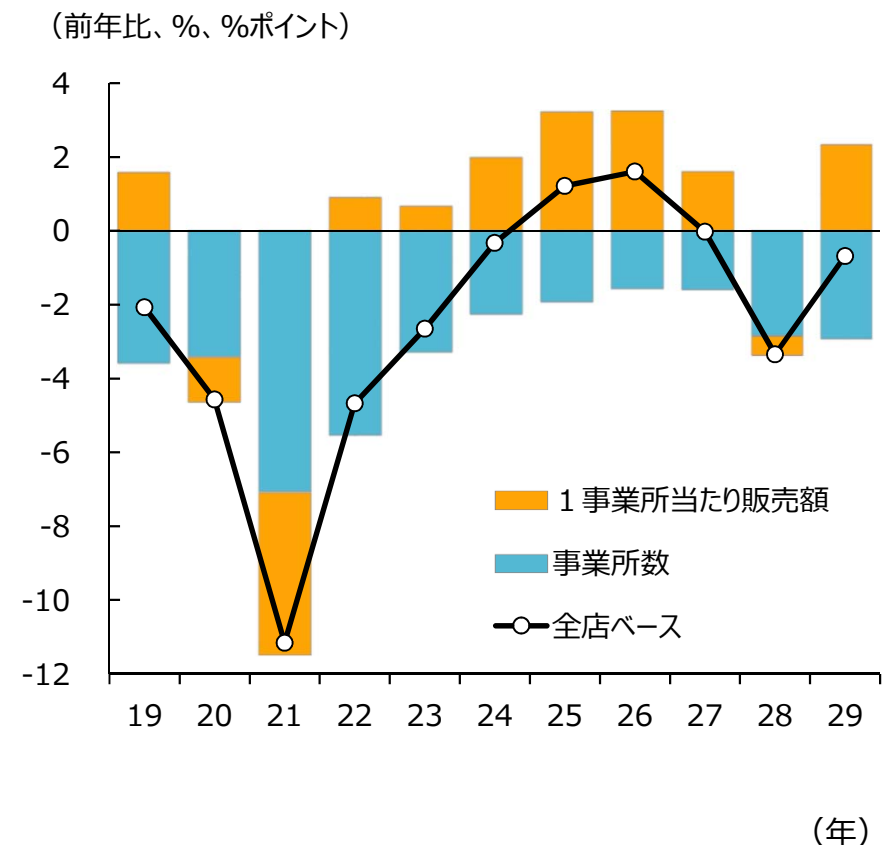
百貨店販売額（前年比）の動向、変動要因分解

- ・平成29年の百貨店販売額は前年比-0.7%の減少。1事業所当たりの販売額が増加したものの、事業所数が減少した。
- ・既存店ベースでは前年比0.6%の増加。

販売額（前年比）の動向



変動要因分解

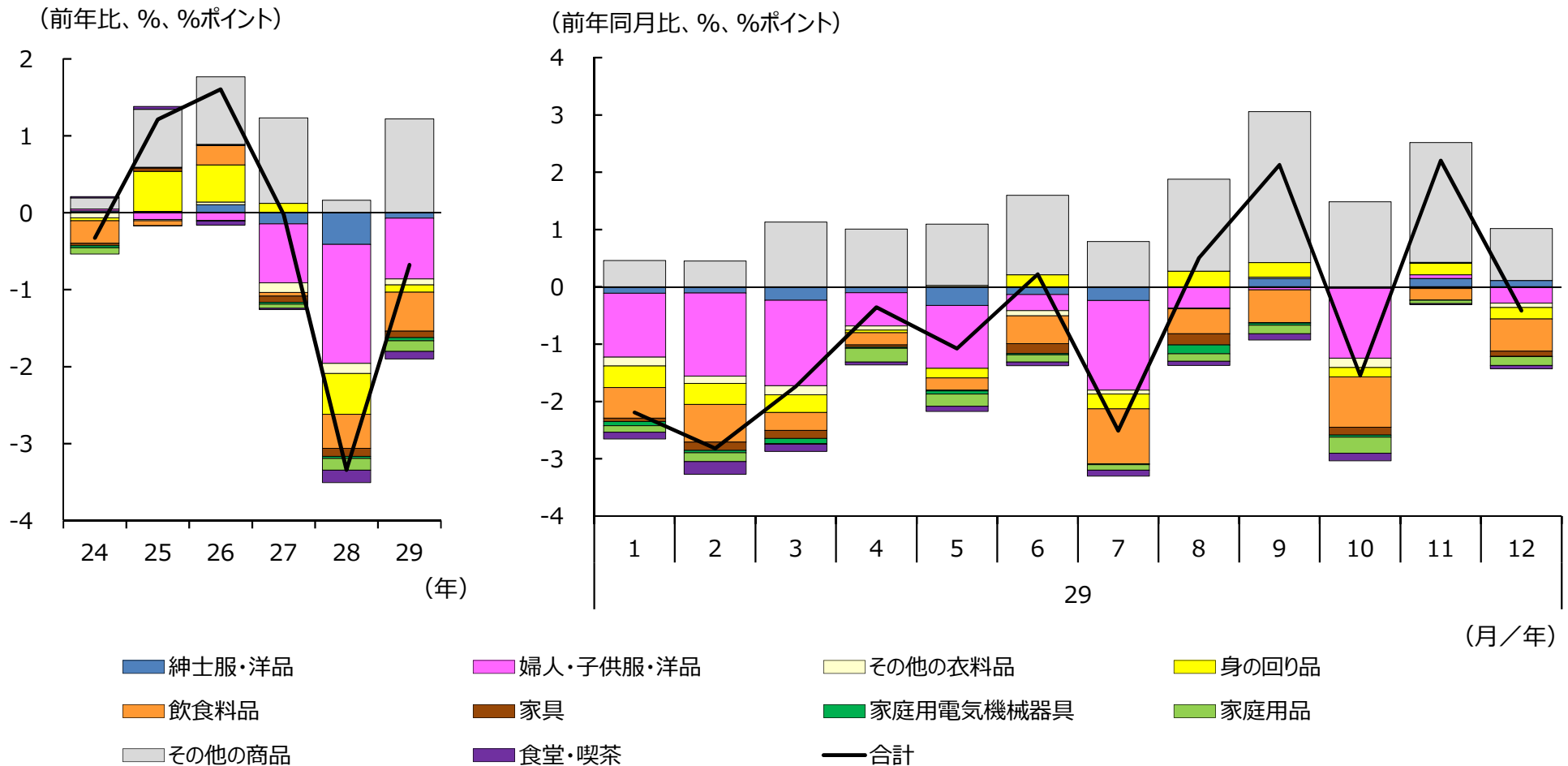


資料：経済産業省「商業動態統計」から作成。

百貨店販売額の変動要因分解（商品別）

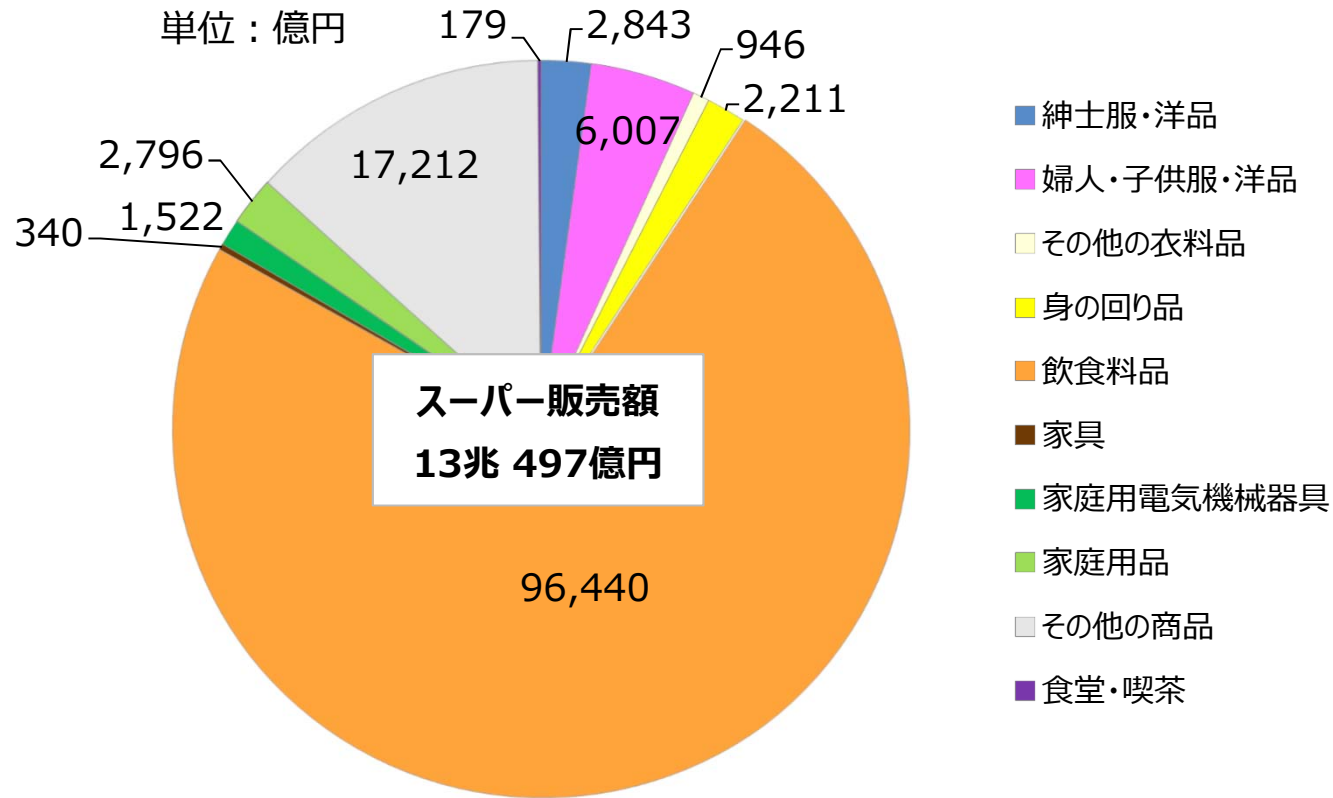
・平成29年の百貨店販売額は、化粧品や宝飾品を含む「その他の商品」が上昇したものの、「婦人・子供服・洋品」、飲食料品等が低下したことにより、全体は前年比-0.7%の減少。

百貨店販売額の伸び率、商品別寄与度の推移



資料：経済産業省「商業動態統計」から作成。

平成29年 スーパー販売額の商品別内訳



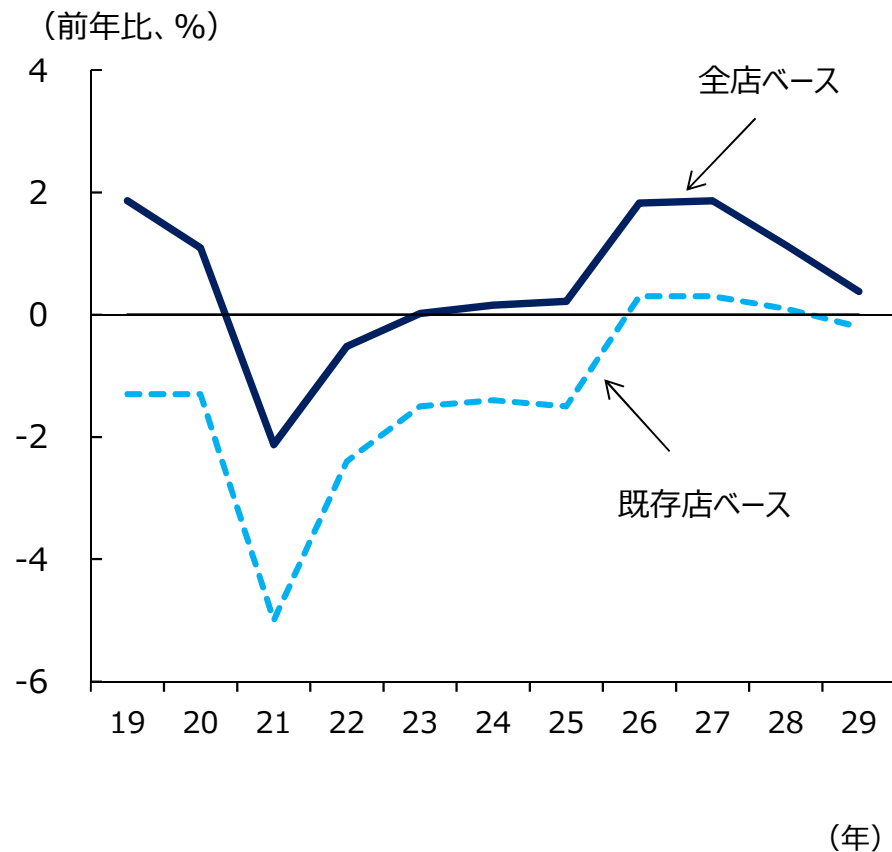
商品名	内容例示
紳士服・洋品	紳士服、下着類、ワイシャツ、ネクタイ、靴下など
婦人・子供服・洋品	婦人服、子供服、下着類、ブラウス、靴下など
その他の衣料品	呉服、反物、寝装具類、和装小物、タオルなど
身の回り品	靴、履物、和・洋傘類、かばん、トランク、ハンドバッグ、裁縫用品、装身具(宝石、貴金属製を除く)など
飲食料品	飲料、和・洋酒、調味料、食肉、鮮魚、乾物、野菜、果実、菓子、パン、乳製品など
家具	和・洋家具、室内調度品、神仏具、じゅうたん、カーテン、ござなど
家庭用電気機械器具	テレビ、ラジオ、ステレオ、DVD、エアコン、電気洗濯機、電気冷蔵庫、照明器具、電気こたつ、電気ストーブ、パソコン、電話機、携帯電話機など
家庭用品	陶磁器、ガラス器、漆器、金物、荒物、ガス器具、石油ストーブ、水道器具、マシン、編機など
その他の商品	医薬品、化粧品、洗剤、書籍、文房具、事務用品、貴金属、宝石、美術工芸品、時計、眼鏡、カメラ、ビデオテープ、CDソフト、DVDソフト、スポーツ用品、娯楽用品、玩具、電子応用玩具、ゲームソフト、楽器、園芸用品、大工用品、ペット関連商品、たばこ、喫煙具、燃料、自転車、自動車、トイレトーパー、ティッシューパー、紙おむつなど
食堂・喫茶	食堂、喫茶室、すし屋などその場で顧客に飲食させるもの

資料：経済産業省「商業動態統計」から作成。

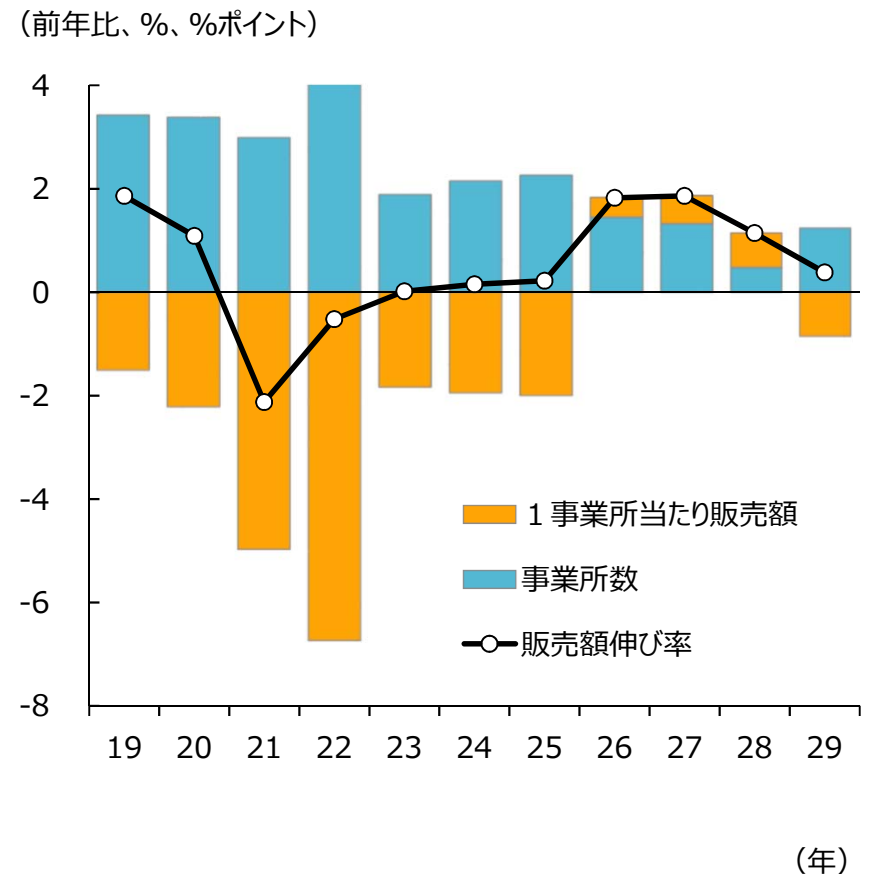
スーパー販売額（前年比）の動向、変動要因分解

- 平成29年のスーパー販売額は前年比0.4%の増加。1事業所当たりの販売額が減少したものの、事業所数が増加した。
- 既存店ベースでは前年比-0.2%の減少。

販売額（前年比）の動向



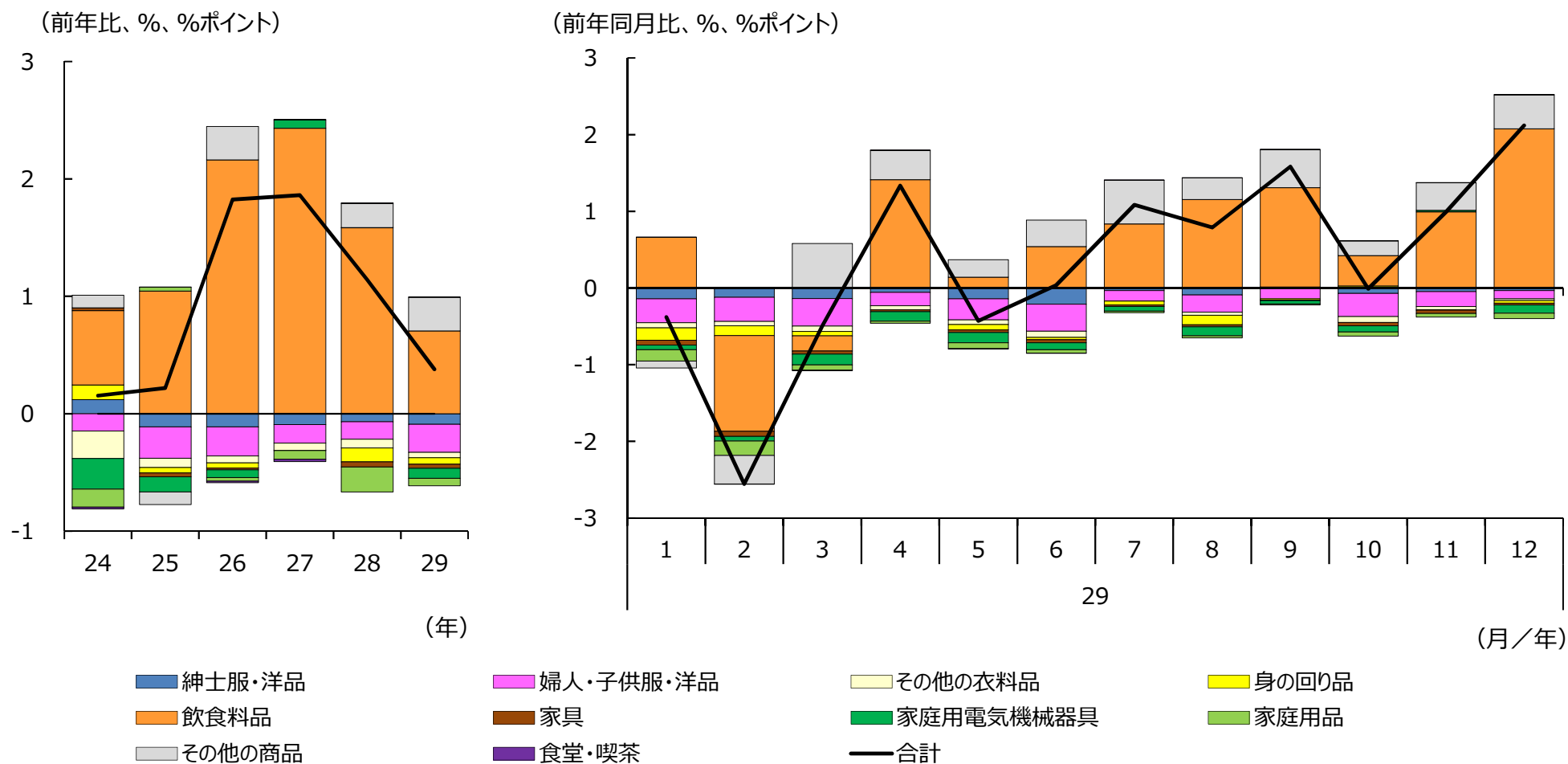
変動要因分解



スーパー販売額の変動要因分解（商品別）

平成29年のスーパー販売額は、「婦人・子供服・洋品」などは低下したものの、飲食料品、化粧品や宝飾品を含む「その他の商品」等が上昇したため、前年比0.4%の増加。

スーパー販売額の伸び率、商品別寄与度の推移

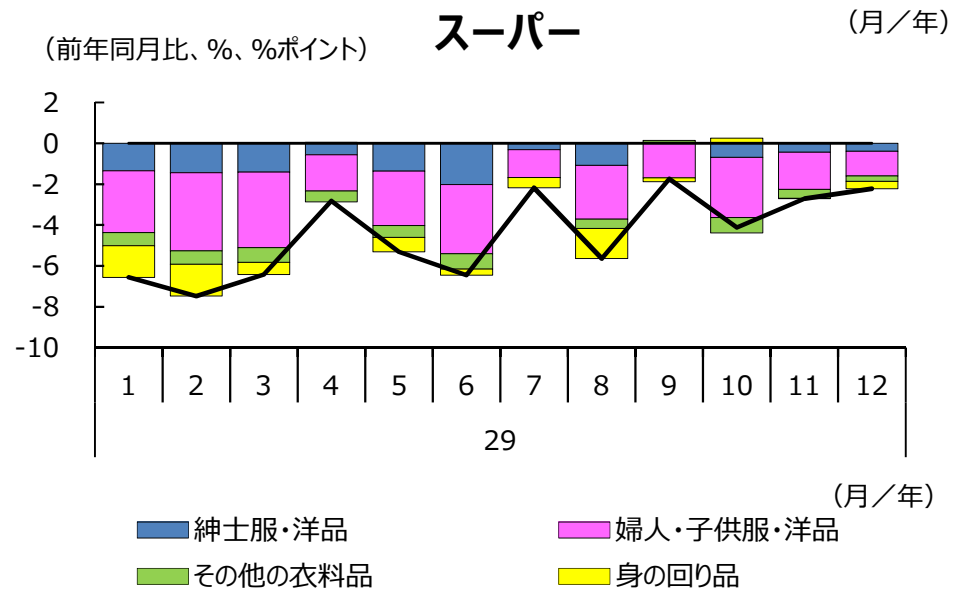
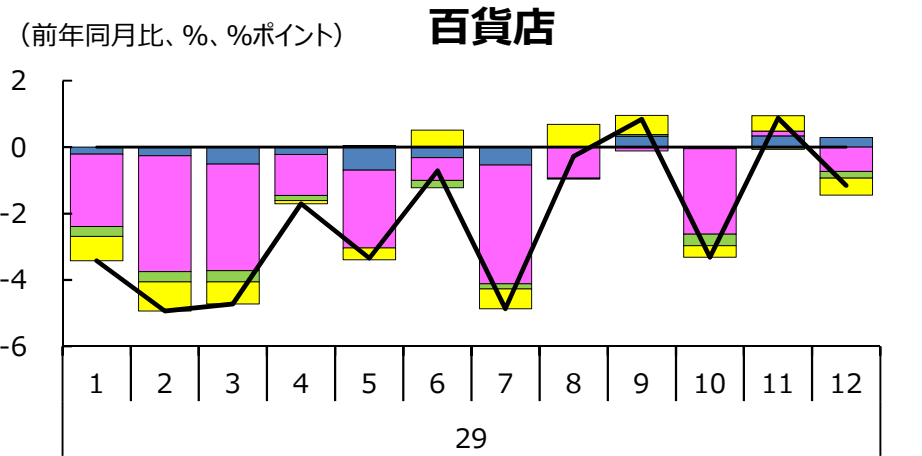
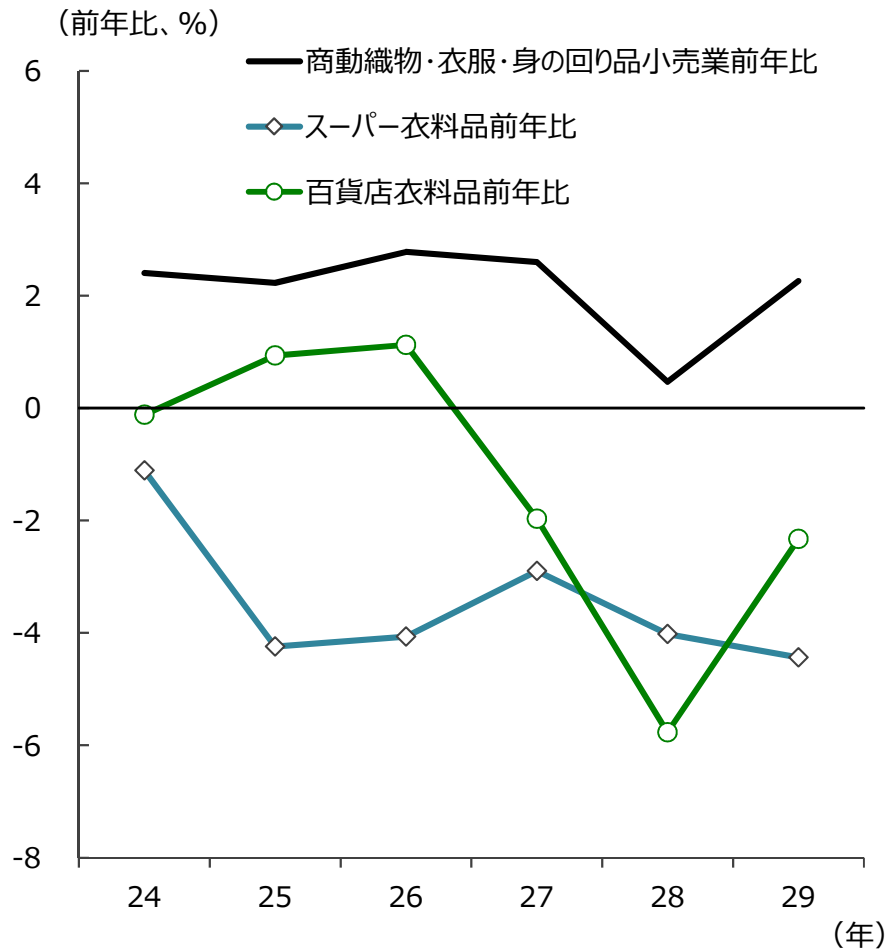


資料：経済産業省「商業動態統計」から作成。

百貨店、スーパーの衣料品関係の動向

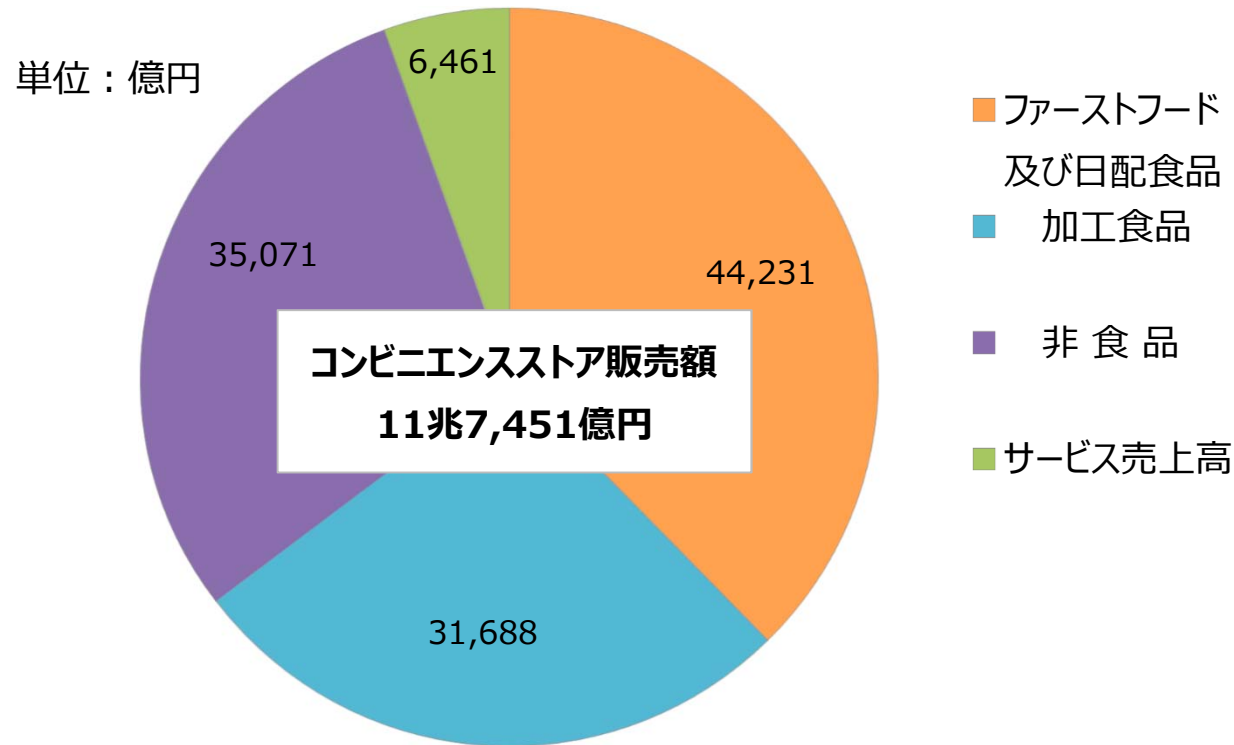
- ・平成29年の「織物・衣服・身の回り品小売業」は前年比2.3%の増加だが、百貨店の衣料品販売額は同-2.3%、総合スーパーも同-4.4%の低下。
- ・百貨店、スーパーとも「婦人・子供服・洋品」の低下寄与が大きい。

百貨店、スーパーの衣料品販売額の前年比



資料：経済産業省「商業動態統計」から作成。

平成29年 コンビニエンスストア販売額の商品別内訳



商品名	内容例示
ファーストフード及び日配食品	米飯類（寿司、弁当、おにぎり等）、カウンター商材（コーヒー、揚げ物、中華まん）、パン、調理パン、総菜、漬物、野菜、青果、水物（豆腐等）、調理麺、卵、加工肉（ハム、ウインナー、ベーコン等）、牛乳、乳飲料、乳製品（バター、チーズ等）、練物（ちくわ、かまぼこ等）、生菓子（ケーキなどの和洋菓子）、サラダ、デザート類（プリン、ゼリー、ヨーグルト等）など
加工食品	菓子類（生菓子を除く）、ソフトドリンク（乳飲料を除く）、アルコール飲料（日本酒、ウイスキー、ワイン等）、調味料（味そ、しょう油、うまみ調味料、ソース等）、嗜好品（コーヒー、お茶等）、食塩、砂糖、食用油、米穀、乾物、各種の缶・瓶詰類、冷凍食品、アイスクリーム、レトルト食品、インスタント食品、焼きのりなど
非食品	雑誌、書籍、新聞、衣料品、袋物類、文房具、ブラシ、玩具、雑貨、たばこ、ペットフード、乾電池、テープ、CD、電球・蛍光灯、電卓、燃料、人形、サングラス、履物、園芸用品、ゲームソフト、花火、洗剤、化粧品、医薬品、医薬部外品栄養ドリンク、陶磁器・ガラス器、金物、紙製品、フィルム、切手、はがき、収入印紙、装身具など
サービス売上高	コピー、ファクシミリ、宅配便、商品券、ギフト券、乗車券、各種チケット、テレフォンカード、宝くじ、D.P.E、レンタル、航空券、宿泊券、クリーニングなど

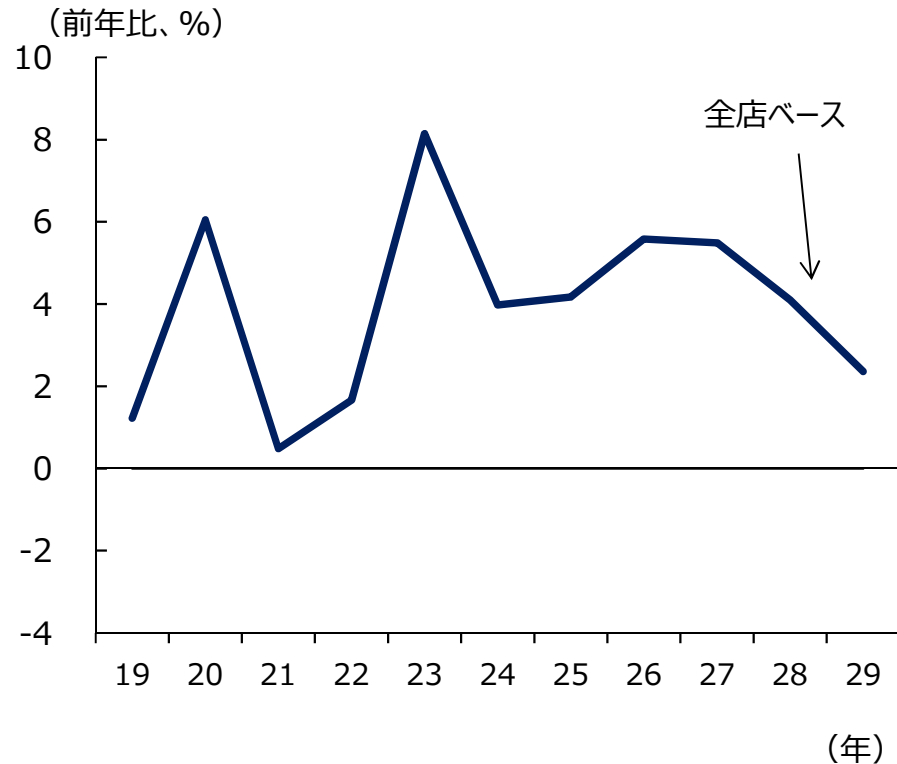
(注) 1. コンビニエンスストア販売額は商品販売額とサービス売上高の合計。
 2. サービス売上高は、電力料金、ガス料金、放送受信料、電話料金、水道料金など公共料金等の収納代行による売上高を除く。

資料：経済産業省「商業動態統計」から作成。

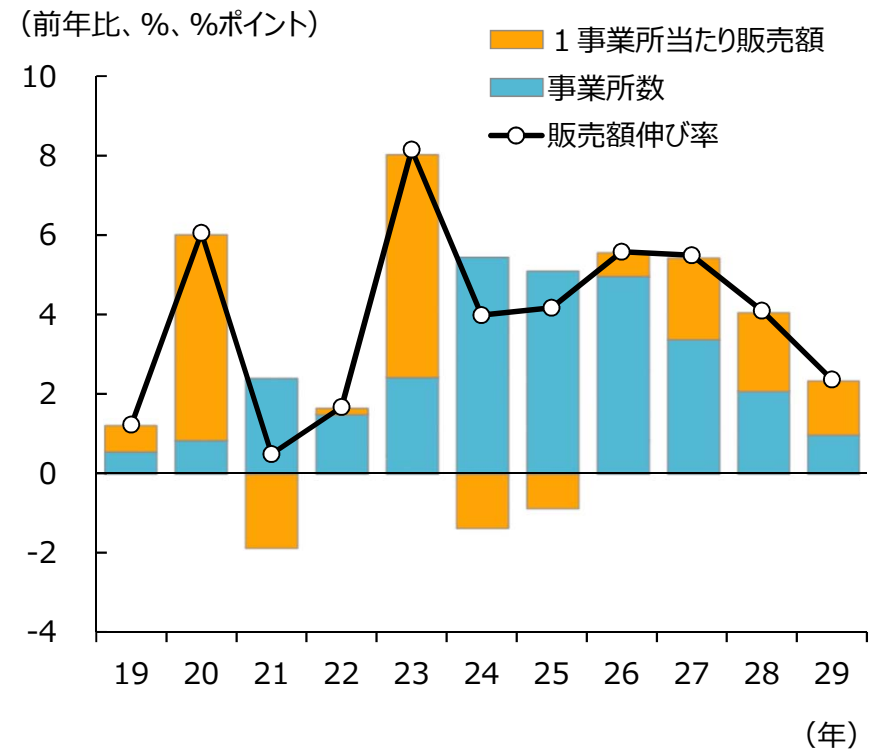
コンビニエンスストア販売額（前年比）の動向、変動要因分解

- ・平成29年のコンビニエンスストア販売額は、前年比2.4%の増加。
- ・事業所数と1事業所当たり販売額ともに増加した。但し、事業所数、1事業所当たり販売額とも上昇幅は縮小。

販売額（前年比）の動向



変動要因分解



(注) 1. コンビニエンスストア販売額は商品販売額とサービス売上高の合計。

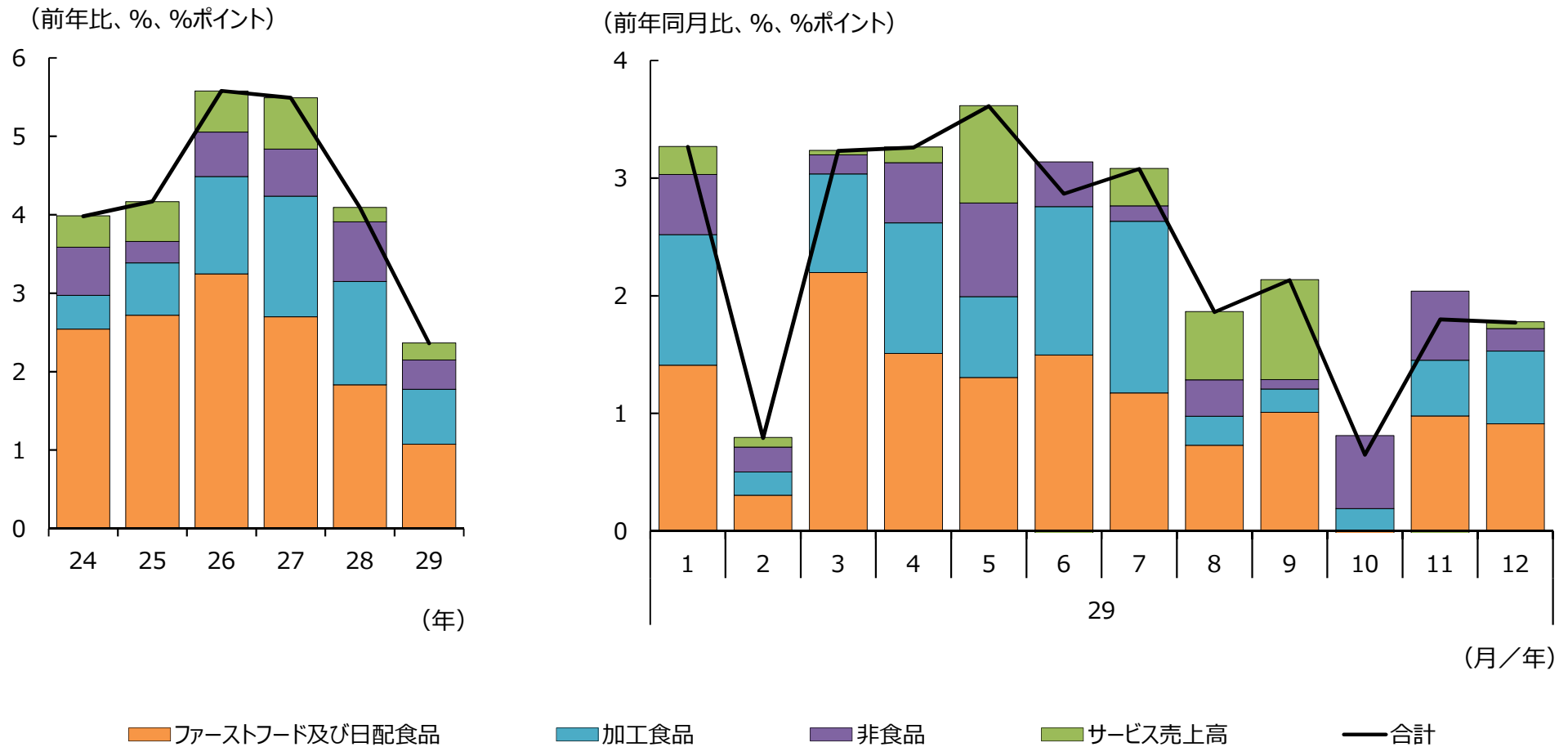
2. 平成20年に1事業所当たりの販売額が大きく伸びた背景には、たばこ自動販売機用成人識別ICカード「taspo（タスポ）」の影響により、たばこの販売が好調であったこと等がある。平成23年の伸びの背景には、たばこの値上げ（平成22年10月～）によって販売額が増加したこと、震災による被災地での需要、夏場の猛暑等がある。

資料：経済産業省「商業動態統計」から作成。

コンビニエンスストア販売額の変動要因分解（商品別）

・平成29年のコンビニエンスストア販売額は、「ファーストフード及び日配食品」、「加工食品」等の増加により、前年比2.4%の増加。但し、「ファーストフード及び日配食品」、「加工食品」とも上昇幅は縮小。

コンビニエンスストア販売額の伸び率、商品別寄与度の推移



(注) コンビニエンスストア販売額は商品販売額とサービス売上高の合計。
資料：経済産業省「商業動態統計」から作成。